

まことの道きせらぎ〔如月〕二月

「ゆき」

雪やこんこ

あられ霰やこんこ

降っては降っては

ずんずん積もる

山も野原も綿帽子かぶり

枯木残らず花が咲く



神話冊子「みんなの神さま」を無料で差し上げます。詳しくは神社庁HPをご覧ください。直接お電話(045-761-6387)下さい。

家庭祭祀さいしのおすすめ

神様の
大きなお力の
はたらきと
お恵み



人は日々
「みたまのふゆ」を戴き
生かされています。
神様のお恵みと
祖先のご恩に感謝して
神棚に
手を合わせましょう。



神奈川県
神社庁
ウェブサイト

神宮大麻と氏神さま

神社をうしがみ氏神さま・産土さま・鎮守さまと呼ぶこともあります。

氏神さまとは、自らが居住する地域の神さまをお祀りする神社でのことで、この神社の鎮座する周辺の一定地域に居住する人々を氏子と称します。元来は、文字通り氏姓を同じくする氏族の間で、自らの祖神や氏族に縁の深い神さまを氏神さまと称して祀っていました。

産土さまは自分が生まれた土地の神様のことで、鎮守さまは国や地域など一定の区域・場所を守護する神さまのことをいいます。しかし、時代の変遷とともに、氏神さま・産土さま・鎮守さまはもともとの意味は違っているが、今では混同してしまい、同じような意味で使われるようになりました。

年末年始に氏神社から戴くお神札には、氏神さまのお神札のほかに伊勢の神宮のお神札である神宮大麻があります。

神宮大麻の大麻とは「おおぬさ」とも読み、神社でお祓いに用いる祭具を意味します。古くは御師が、広く一般の崇敬者に対し神宮大麻を配布していました。明治天皇の思召しにより、国民が朝夕皇大神宮を敬拝するために神宮から全国各地にお頒かちすることになりました。

神宮大麻は節目ごとに様々な祭典を重ねて、皇室の弥栄・国家の安泰・各家庭の平安を祈りつつ一体一体丁寧に奉製されています。お正月を迎える前には、新しい神宮大麻と共に、地域をお守り下さる氏神さまのお神札を一緒にお祀りして、ご家庭の一年の無事と幸せを祈りましょう。

神奈川県神社庁

〒235-0019 横浜市磯子区磯子台20-1
TEL:045(761)6387 FAX:045(761)0100
E-mail:k-jinjacho@kanagawa-jinja.or.jp



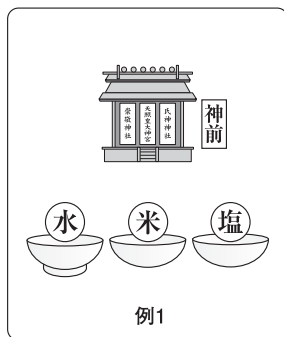
ご自由に一枚ずつお持ち下さい。

家庭祭祀の豆知識

お供え

神棚には、主に「米」「酒」「塩」「水」をお供えます。毎日お供えするのが理想ですが、毎月1日と15日に新しいものをお供えするなど、出来る範囲で行いましょう。

一番大切なのは丁寧に感謝の気持ちをもってお供えすることです。



まつ 神棚を祀る方角

神棚を祀るときには、一般的に日が昇る東向きか、陽光が最も降り注ぐ南向きを原則に、家中で最も清浄な場所を選んでお祀りします。これは神棚が家族や家庭の守りの中心として重要だからです。

神社は一般的に南向きか東向きに建てられていることが多いです。

しかし、地勢的問題やその神社の特別な由緒から西向きや北向きに建てられていることもあります。

